



こくさいこうりゅう

# 国際交流ニュースレター

第24号 発行:名取市総務部総務課(平成23年5月31日)



第一部「多文化共生シンポジウム」のパネルディスカッションの様子。市内で活躍している海外から来た住民の方などが今まで経験した出来事などを話しました

**県内に在住する外国人事情**

全国的に外国人の増加が続いており、外国人の人口は約20万人に達している。その中でも、アジア系外国人の増加が目立つ。特に中国、韓国、台湾からの移民が増えている。また、近年では、海外からの労働者や学生も増加している。外国人の増加に伴い、多文化共生の取り組みが求められるようになっている。

外国人の増加に伴い、外国人の生活環境を整えることが重要である。外国人の生活環境を整えるためには、外国人の生活環境を整えることが重要である。外国人の生活環境を整えるためには、外国人の生活環境を整えることが重要である。

**特集**

## 海外から日本に来た人、日本から海外へ行った人 名取の国際化を考える県民フォーラム開催

国際空港である仙台空港がある都市として、名取の国際化を考える県民フォーラムが二月十三日、文化会館中ホールにて開催された。

このフォーラムは二部構成となっており、外国から来た住民が能力を發揮できる社会づくりや国際協力の必要性について考えるパネルディスカッションなどが行われ、市内外から国際化、国際親善に興味のある人で会場は盛り上がりました。

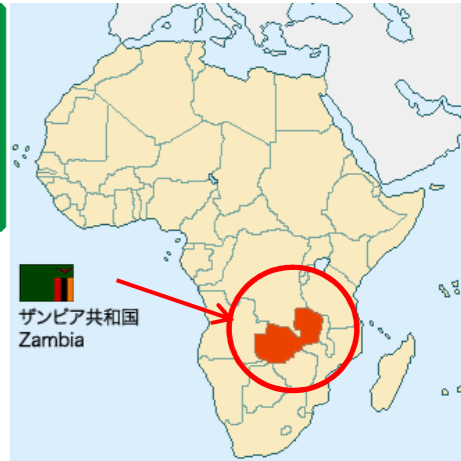


財団法人宮城県国際交流協会大村昌枝氏による宮城における多文化化の現状の講演

**多文化共生とは?**

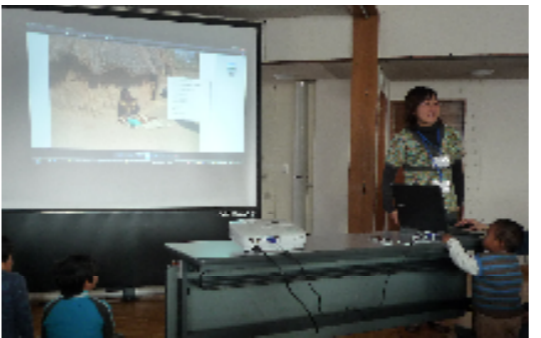
多文化共生とは、異なる文化背景を持つ人々が互いに尊重し合い、共に生活していくことです。多文化共生を実現するためには、互いに尊重し合い、共に生活していくことが重要です。多文化共生を実現するためには、互いに尊重し合い、共に生活していくことが重要です。

## アフリカの子供たちのために活躍する日本人お母さん



遠く離れたアフリカ大陸のザンビア共和国で、病気などで両親がいない子供たちのお母さんとして活躍している、名取市出身の青木桜子(おうこ)さん。昨年里帰り出産のために帰国した青木さんに、ザンビアでの生活や活動内容について伺いました。

- Q. 滞在しているところはどこですか。  
A. 5年間住んだチョングェ県カシंगाを去年離れ、現在は首都ルサカに2月から住んでいます。
- Q. 日本からザンビアへの移動時間と時差を教えてください。  
A. 香港と南アフリカ共和国のヨハネスブルグでのトランジットを含め、約29時間、時差は7時間です。
- Q. どのような気候ですか。また特産物や見どころは何ですか。  
A. 乾燥していて、暑過ぎもなく、寒過ぎもなく、過ごし易い気候です。見どころはビクトリアの滝です。
- Q. 母国語は何ですか。  
A. 73の部族があり、74の言語があります。
- Q. 交通の便はどうですか。また主な交通手段は何ですか。  
A. 小型バスがいたるところに走っていますが、その他タクシーもあります。
- Q. 日用品などの買い物は普段どのようなところでしますか。  
A. ルサカにはショッピングモールが2つあり、そこを利用したり、マーケットを利用したりします。
- Q. ザンビアの主食、郷土料理は何ですか。また好きな料理やこれは苦手だという食べ物があれば教えてください。  
A. 主食はシマというトウモロコシの粉末を煮詰めたもので、レップという青菜や、サツマイモの葉、かぼちゃの葉もとてもおいしいおかずです。ザンビアには海がないので、川魚やダムで捕れる魚も食べます。苦手な食べ物は特になくて、衛生的であれば、何でも食べます。
- Q. ザンビアで暮らすようになった経緯を教えてください。  
A. アフリカの孤児のために、何をしたいかというのが、小さい頃からの夢でした。2004年に礎の石孤児院が新たにザンビアに孤児院を始めると知った時、いてもたってもいられず、活動に参加しました。
- Q. お仕事は何をされていますか。また一日の仕事の内容を教えてください。  
A. 孤児院を運営しています。孤児たちの世話と事務、畑の手入れなど多種多様です。
- Q. 休日はどのように過ごしていますか。また、生活をしていて一番困ったことは何ですか。  
A. 孤児院を運営しているので、特に休日は設定していません。困ったことは車が盗難されてしまい、移動や搬送にとっても苦労しています。
- Q. 家族構成を教えてください。  
A. ザンビア人の夫との間に、2歳と3カ月になる2人の息子がいます。
- Q. ザンビアと日本の違いを一言で言うと、どんなことでしょうか。  
A. 効率の良さを求めない、2つの事を同時にしないというのは、とても日本と違うと感じます。
- Q. 最後に市民の皆さんに一言お願いします。  
A. 出産のために帰国し、久しぶりに生まれ故郷でゆったりと過ごしています。ザンビアの孤児たちの事をより多くの方に知っていただいて、活動を応援していただけたらと願っています。



国際交流協会ともだちin名取主催のイベントでザンビアの紹介をする青木さん

遠く異国の地で仕事も家庭も両立している青木さんの更なる発展とご活躍に期待したいですね。

## 皆さまへのお知らせ

今号もなとり国際交流ニュースレターをお読みいただきありがとうございます。今まで年4回このニュースレターを発行しておりましたが、より早く多くの情報を皆さんにお知らせ出来るよう、今後はホームページに記事を掲載することになりました。

今までと変わらず、海外での交流体験だけでなく、市内で国際交流や多文化共生に関わっている方の活動や、名取にお住まいの外国人の方を紹介するなど、私たちの身近な話題も取り上げていきたいと考えていますので、ぜひ皆様の身近な方たちの情報をお寄せください。名取市の国際交流に関するご要望もお待ちしております。

【情報はこちらへ】  
〒981-1292(住所記入不要) 名取市総務部総務課広報聴係 電話384-2111内線317 FAX384-9030  
Eメール: soumu@city.natori.miyagi.jp

